

エコロジール事例集 トルコギキョウ青枯病①（栃木県）

前作では、圃場の2～3割ほどに青枯病が発生していたが、
エコロジール処理後、全調査地点で青枯病菌が検出限界以下に！

処理条件

[面積] 1080㎡ [エコロジール使用量] 1000L
[土壌の種類] 低地水田土 [希釈倍率] 約60倍
[処理期間] 2023/7/18～8/4 [希釈液使用量] 50～70L/㎡

処理の流れ

方法：被覆後に希釈液投入

- ①耕うん、整地、均平化
- ②灌水チューブを敷設、被覆
- ③事前灌水
- ④エコロジールを希釈投入
- ⑤18日間被覆
- ⑥被覆除去
- ⑦基肥投入、耕うん、畝立て後定植

使用資材

[灌水チューブ] スミサンスイNEWマルチ60
[被覆資材] 農業用ポリエチレンフィルム
[液肥混入器] スミチャージ

ポイント

ここでは、水平方向に散水できるタイプのチューブを使用することで、よりムラなく処理できました。

結果

エコロジール処理前



青枯病菌により一部枯死
(6月6日)

〔圃場図〕



+ : 青枯病菌検出
- : 青枯病菌不検出

上層：10～20cm
下層：50～60cm

処理前、
青枯病菌が
7地点中3地点で検出

エコロジール処理後



2番花栽培中の様子 (1月16日)

〔圃場図〕



+ : 青枯病菌検出
- : 青枯病菌不検出

上層：10～20cm
下層：50～60cm

処理後、
青枯病菌が
**全調査地点で
検出限界以下となった**

生産者のコメント

前作は2番花の初期から青枯病による欠株が出たが、今作は1月時点でも全く欠株はない。
収穫が忙しくなりそうで楽しみ。